

スタイル別にみる直近の状況について

「SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称: jrevive)」及び「SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型) /愛称: jrevive II」は、国内中小型株式の中でも「割安株」に着目しています。本レポートでは、その主要投資対象である「割安株」の傾向及び今後の動向について、ご紹介いたします。

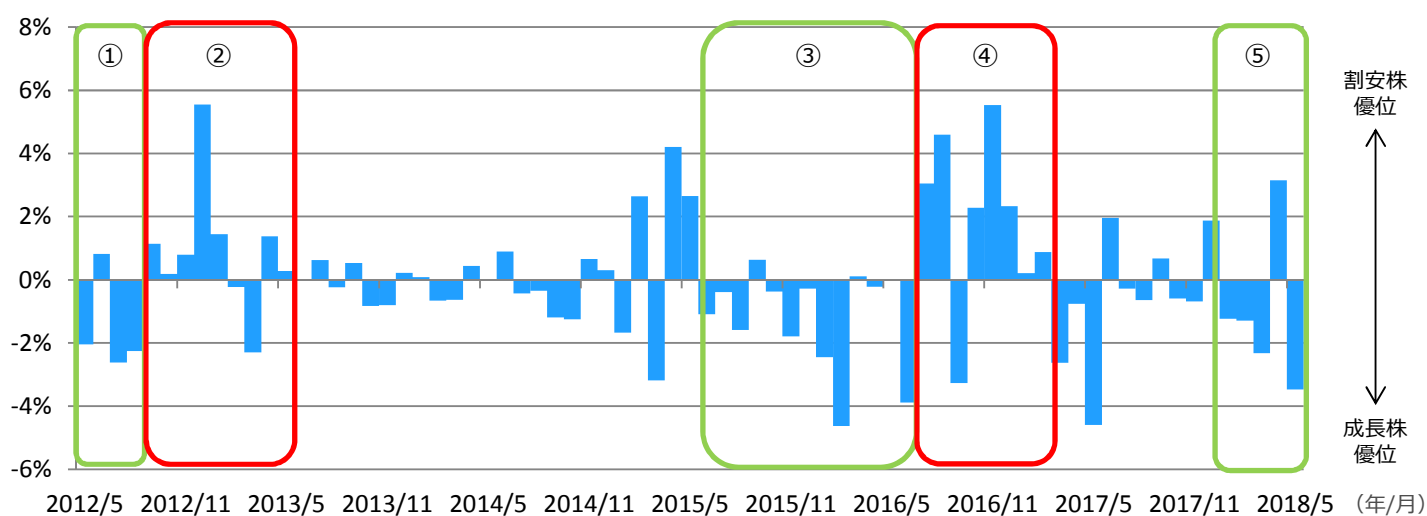
Point

- 株式市場の物色動向を「成長株」と「割安株」という観点からみると、過去成長株優位の期間、割安株優位の期間がありました。2018年2月の株価下落以降は、概ね成長株優位の相場が続いています。
- 日本は4月後半から5月にかけて企業の決算発表シーズンとなります。こうした時期は各企業の業績への注目が高まる事から、成長株が物色の対象となりやすく、その流れが一巡すると割安株へ物色の対象が移る傾向が過去の推移から見て取れます。また、長期的な観点でみると割安株が優位となる傾向があります。
- ジェイリバイブの組入銘柄は、“割安株中心”のため足元は出遅れているものの、組入企業の業績見通しに変わりはなく、今後の成長に期待できると考えています。

スタイル別からみたこれまでの傾向

- 過去のデータから「成長株」と「割安株」の傾向を騰落率でみると、成長株が優位であった期間と割安株が優位であった期間のそれぞれがありました。下の図で①、③、⑤の期間は成長株が優位な期間、②、④の期間は割安株が優位な期間となっています。これまでの傾向により、成長株が優位な展開の後は割安株優位の展開となっていることがうかがえます。

〈成長株・割安株の騰落率の差〉



期間: 2012年5月~2018年5月末
 ※「成長株」、「割安株」はそれぞれTOPIXグロースインデックス・TOPIXバリューインデックスを使用 騰落率は月末の数値をもとに
 【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

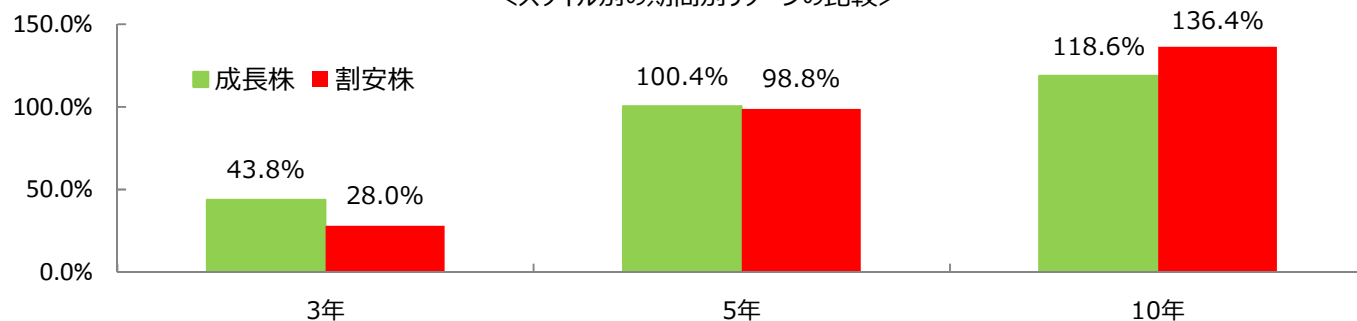
* 後掲の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

スタイル別にみる直近の状況について

長期で高いリターンを獲得する割安株

- 局面によるものの、長期的にみた場合には「割安株が優位になる傾向がある」といえます。そのため、割安株へ投資する際は短期的な動きではなく、より長期的な視点で考えることが大切であるといえます。

＜スタイル別の期間別リターンの比較＞

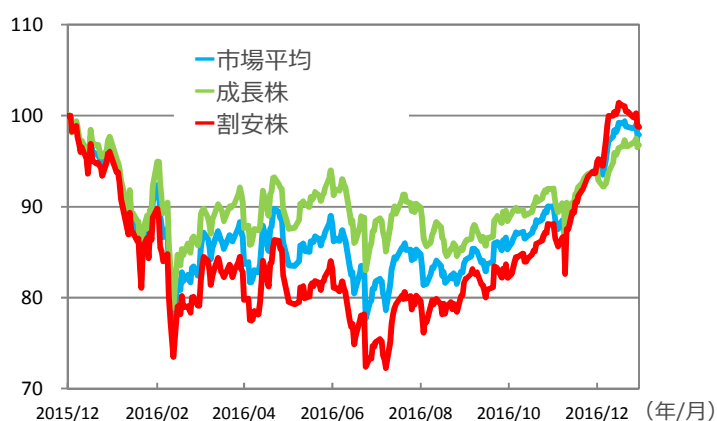


期間：3年（2015年5月末～2018年5月末）、5年（2013年5月末～2018年5月末）、10年（2008年5月末～2018年5月末）
 ※「成長株」、「割安株」はそれぞれRussell/Nomura Small Cap Growth インデックス、Russell/Nomura Small Cap Value インデックスを使用。
 【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

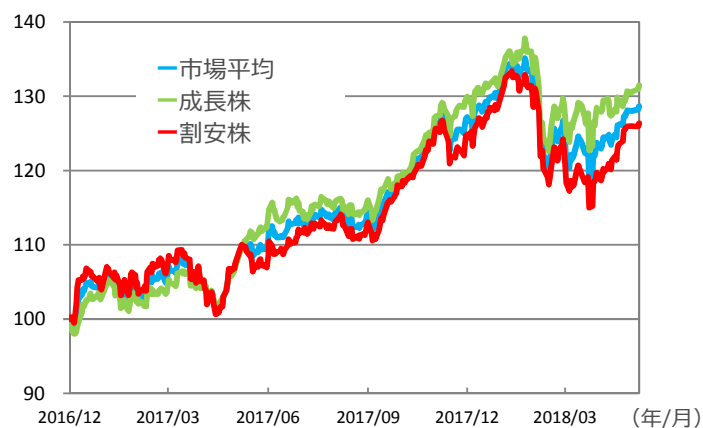
今後の動向について

- これまでの株価下落後の戻り局面においては、その初期段階では成長株が優位となりますが、後半に差し掛かると割安株が挽回するという展開となっていることが分かります。
- ジェイリバイブにおいても、組入銘柄は割安株中心のため足元出遅れていますが、組入企業の業績見通しに変わりはなく今後の成長は期待できると考えています。

＜2015年12月を基準とした推移＞



＜2016年12月を基準とした推移＞



期間：それぞれ、2015年12月1日、2016年12月1日を100として指数化。
 ※「市場平均」、「成長株」、「割安株」はそれぞれRussell/Nomura Small Cap インデックス、Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス、Russell/Nomura Small Cap Value インデックスを使用。
 【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメント作成 【データ期間】(2015年12月1日～2016年12月30日)、(2016年12月1日～2018年5月31日)

スタイル別にみる直近の状況について

SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)

ファンドにかかるリスク

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等価値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

(主な変動要因)

<価格変動リスク>

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

<流動性リスク>

株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

<信用リスク>

投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

購入単位	1口以上1口単位として販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の基準価額となります。
購入代金	原則として、購入申込受付日から起算して5営業日目までに販売会社にお支払いください。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。換金手数料はかかりません。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。
信託期間	無期限 (設定日: 2006年7月31日)
決算日	毎年7月22日 (休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。

スタイル別にみる直近の状況について

SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)

お客様にご負担いただく費用等

購入時手数料	購入申込金額に 3.24% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。	
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額とします。	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に 年1.836% (税抜1.7%) を乗じて得た金額とします。運用管理費用 (信託報酬) の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期末を含む毎月22日 (22日が休業日のときは翌営業日) または信託終了のときファンドから支払われます。	
	内 訳	委託会社 年 1.0368% (税抜: 0.96%)
		販売会社 年 0.7236% (税抜: 0.67%)
		受託会社 年 0.0756% (税抜: 0.07%)
※委託会社の報酬より、投資顧問 (助言) 会社への報酬が支払われます。		
その他の費用 および手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用等が信託財産から差引かれます。これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。	

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他関係法人

委託会社: SBIアセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行います。)

金融商品取引業者関東財務局長 (金商) 第311号

加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンド財産の保管・管理等を行います。)

スタイル別にみる直近の状況について

SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型) /愛称:jrevive II

ファンドにかかるリスク

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等価値のある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

(主な変動要因)

<価格変動リスク>

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

<流動性リスク>

株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

<信用リスク>

投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。換金手数料はかかりません。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。
信託期間	無期限 (設定日: 2015年7月10日)
決算日	年2回 (原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。

スタイル別にみる直近の状況について

SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型) /愛称:jrevive II

お客様にご負担いただく費用等

購入時手数料	購入申込金額に 3.24% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。							
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額とします。							
運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に 年1.8144% (税抜1.68%) を乗じて得た金額とします。運用管理費用 (信託報酬) の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期末及び信託終了のときファンドから支払われます。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">内 訳</td> <td>委託会社</td> <td>年1.0368% (税抜: 0.96%)</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.7236% (税抜: 0.67%)</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.054% (税抜: 0.05%)</td> </tr> </table> <p>※委託会社の報酬より、投資顧問 (助言) 会社への報酬が支払われます。</p>	内 訳	委託会社	年1.0368% (税抜: 0.96%)	販売会社	年0.7236% (税抜: 0.67%)	受託会社	年0.054% (税抜: 0.05%)
内 訳	委託会社		年1.0368% (税抜: 0.96%)					
	販売会社		年0.7236% (税抜: 0.67%)					
	受託会社	年0.054% (税抜: 0.05%)						
その他の費用および手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。							

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他関係法人

委託会社: SBIアセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行います。)

金融商品取引業者関東財務局長 (金商) 第311号

加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンド財産の保管・管理等を行います。)

本資料のお取扱いについてのご注意

- ・本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- ・本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。
- ・投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。
- ・投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。
- ・お申込みの際には必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。